

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日  
※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。  
※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511  
伊佐市大口里2845番地2  
伊佐PR課  
「和みのひろば」係

☎04113

✉koho@city.isa.lg.jp



先月、伊佐市役所で職場体験をしました。「ふるさと納税」や「ふるさと会」などの説明を受け、これまで知らなかったことを学びました。「ふるさと会」は、伊佐にゆかりのある方々でできている会で、関東や関西など全国に7か所あるそうです。伊佐市出身者でふるさとを思い交流を深められる素敵な会です。私も大人になってふるさとを離れても、この会の皆さんのように自分の「故郷」を大切に思う気持ちを忘れずにいたいです。(さつま町 M・I 10代)

最近、県外の大学に進学した友人が、その地方の方言をよく口にするようになりました。電話やメールで方言を使われると、私も負けじと、わざとらしく、かごんま弁をフル活用します。そうすると、友人は懐かしがってテンションが上がります。新生活を楽しんではいるけど、やはり伊佐が恋しくなるようです。9月に伊佐へ帰ってくと、一言づつ聞いていたので、友人と一緒に改めて鹿兒島を満喫しようと思います。(山野 りんご 20代)

Mさん、笑顔で頑張ってくださいね。将来どこで活躍しているでしょう。故郷は変わらぬことにありますよ。

nagomi no hiroba

発行/伊佐市役所  
〒895-2511 鹿兒島県伊佐市大口里1888番地  
Tel 0995-23-1311 Fax 0995-22-5344  
編集/伊佐PR課  
http://www.city.isa.kagoshima.jp/ info@city.isa.lg.jp  
Tel 0995-29-4113 印刷/大口新生社印刷

**人口のうごき**  
(住民基本台帳から)

**H27. 8. 1 現在 (前月比)**

総人口	27,763 人	(- 19)
男	12,842 人	(- 15)
女	14,921 人	(- 4)
世帯数	13,898 世帯	(- 11)

**編集後記**

戦後70年、特集も組まれ戦争の歴史や復興について知る機会が多くあります。これまでには、戦没者追悼式を取材し遺族の悲しみや戦争の悲惨さを見聞きすることで、しばらくは考える時間を持ちますが、関心は徐々に薄れ日常に戻ってしまう。この繰り返しでした。節目の今年には連載を始め、学童疎開に関する記念誌づくりも進めています。素材集めのため訪ねた戦争体験者は70代後半から80代、涙することや微笑ましい話、当時の生活の知恵など知らなかったことを沢山教えていただいて、こんなに深く心が震える話を独り占めしてはいけないと強く感じます。亡くなった祖父から唯一聞いた戦地の話は「真っ赤になつた飯を食べた」ということ。子ども心に祖父がどうやって生き延びたのか想像し、とにかく胸が痛いと感じた記憶だけです。今なら感じ方も違おうし、そこから平和の大切さも理解できると思います。もっと聞いておけばよかった、でも話したくなかったのかもしい。祖父の話聞くことは叶いませんが、当時を知る方の話を伝えることはできます。皆さんからの情報提供をお待ちしています。